

# 5. 無限の可能性の追求(2)

## のびる



新たな事業領域への挑戦 ～グローバル化～



鉄道事業は、構造的に「企業経営が内向き志向になりやすい」、「ひとつの産業の中で全てを完結させようとする」という傾向があります。しかし、未来に向けて鉄道を進化させるためには、新たな事業領域に進出することで幅広い知見を得て、当社グループが有する技術とノウハウに磨きをかけることが不可欠です。特に、海外の鉄道マーケットは今後年平均2.5%で成長し、2020年には22兆円規模への拡大が見込まれることから、国内外の企業と協力し、海外の鉄道プロジェクトへの参画をめざします。その一方で、国内においても、国内外の優れた技術を積極的に取り入れるなど、内向き志向を打破し、外に開かれた企業風土を構築します。



### ① 海外鉄道プロジェクトへの参画

#### (海外鉄道プロジェクトへの参画)

日本コンサルタンツ(株)(JIC)を中心に、海外鉄道コンサルティング事業を積極的に展開します。さらに、国内外の企業と協力し、オペレーション&メンテナンス分野(列車の運行や設備の保守など)に関する計画・指導・支援)を含めた海外鉄道プロジェクトへの参画をめざします。特に、成長著しいアジアを重点地域と位置づけるとともに、各地域の鉄道プロジェクトに関して、リスクを見極めながら対応していきます。



#### (海外拠点の整備)

海外鉄道プロジェクトの推進と情報収集・マーケティングの強化を目的として、ブリュッセル事務所を新設し、欧州における事業拠点とするほか、シンガポールなど、アジアにおける拠点の整備を進めます。

### ② 鉄道車両製造事業の拡大

#### (「経営の第4の柱」をめざした強化)

2012年4月からグループに加わった(株)総合車両製作所(J-TREC)と、新津車両製作所を含めたグループ全体との相乗効果を最大限に発揮することで、鉄道車両製造事業を「経営の第4の柱\*」として確立することをめざします。グループが有する製造から運行・メンテナンスまで一貫した総合技術力を活かすとともに、ICTの活用などにより、ライフサイクルコストの低減など様々な顧客ニーズに応え、高品質かつ付加価値の高い車両を国内外に提供します。さらに、(株)総合車両製作所において、北陸新幹線用新型車両(E7系)の製造を通じて、新幹線・高速車両の設計・製造ノウハウの蓄積をめざします。

※鉄道事業、生活サービス事業、Suica事業に次ぐ、当社グループの4つ目の経営の柱。

#### (海外展開の推進)

鉄道車両を中心とした総合技術力に磨きをかけ、都市鉄道から高速鉄道まで様々な海外鉄道プロジェクトへの参画をめざします。また、国内外の企業との連携を図りながら、海外において鉄道車両製造事業を展開し、海外マーケットにおける日本の車両のシェア拡大に取り組みます。

### ③ 社外の技術・サービスの積極的な活用

#### (海外技術の積極的な導入)

列車制御システムなど、海外を含めた社外の優れた技術やサービスを積極的に取り入れます。そのため、自前主義に陥ることなく、技術開発に関する社外の動向や情報を絶えず把握していきます。

#### (海外からの調達拡大)

鉄道に関わる製品の調達にあたっては、高品質で安価、かつ十分なアフターケアが行われる製品を、広く国内外に求めることを基本に取り組んでいます。今後も、海外からの調達拡大に向けて、海外企業との交流や調達に関する情報提供を充実させます。

### ④ 新規事業の展開

#### (生活サービス事業における新たな事業展開)

人口減少社会の到来を踏まえ、お客さまとの接点拡大をめざし、既存事業との関連性や鉄道事業との相乗効果といった観点から、「まちづくり」と一体となった住宅サービスのほか、医療・健康、教育、宅配など、新たなサービスの展開をめざします。また、海外への事業展開をはじめ、グローバルな視点での事業活動を推進します。

#### (M&A等の推進)

グループに不足している技術・ノウハウの獲得や、既存事業との相乗効果を目的に、M&Aや他企業等との事業提携を積極的に推進します。

